

2. 3 成果の社会的還元（地域貢献）について

総論

平成27年度はやまと共創郷育センターの発足とともに、COC+事業活動の内容を広く知って頂くためにホームページを開設し、積極的な広報活動に努めている。

平成30年度は、4月21日付日本経済新聞関西経済欄に本学の取組が紹介されたほか、「ニュースレターの発行」など、学内・学外に向けてCOC+事業を周知するとともに、地（知）の拠点となるべく、地域の自治体や中小企業と協働し、地域の雇用創出の役割を果たしてきた。

(1) ニュースレターの発行

平成30年度は、COC+事業の周知のため、全教職員に向けて2回のニュースレターを発行した。2018年秋号及び2019年春号は以下のとおり。



奈良女子大学
2018/9/20

やまと共創郷育センター NEWSLETTER
 2018年秋号

平成27年12月にスタートした本学におけるCOC+事業では、県内自治体・企業と連携する体制を整え、地域とのつながりを強くしたフィールドワーク型・PBL型を含む「地域志向科目」の展開を通じて多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が社会で活躍することを目標としています。

COC+評価委員会、COC+事業協議会を開催

本年6月に平成29年度はやまと共創郷育センターCOC+評価委員会が開催されました。やまと共創郷育センターCOC+評価委員長はCOC+事業について適切な評価を行うための組織で、長友保大氏(前奈良教育大学学長)が評価委員長として、他4名の評価委員から専業の進捗状況、地域状況の評価がなされました。長友委員長からは、「6ヶ所評価の第3年度における平成29年度は事業活動にかなりの進捗がみられた。特に、学生が家庭長を知る、県内企業や自治体を知ることで教育における変革だけでなく、現場における実践的・体験的な経験は一定の成果が収められたと評価される。また、学生の教育に加えて、教員と企業との交流(産学同委員会、県内企業)が行われたこと素晴らしい結果として評価される、との評価をいただきました。

また、7月には平成30年度はやまと共創郷育センターCOC+事業協議会が開催されました。COC+事業協議会はCOC+事業全体の推進に関する重要な事項を協議するとともに、課題やニーズを把握し必要と改善や見直しを行うための会議です。当日は議長である本学学長(前学長)の司会のもと、事業関係機関の自治体・企業からの出席者も、今後のCOC+事業に関するための意見交換を行いました。参加自治体からは事業終了年度(産地)の協議を促進する意見や、参加企業からは、一人でも多く奈良で就業して頂くためには、学生に奈良の企業がより多く知って頂くこととし、企業側において情報発信等の努力が必要である等々の意見が聞かれました。



COC+評価委員会



COC+事業協議会

平成30年度開講「地域志向科目」について

事業開始の4年目を迎えたCOC+事業の大きな柱である「地域志向科目」は、「奈良女子大学の教育上の特色に沿った開講」、「奈良女子大学を通じてあなたに世界にどんな貢献ができるか?」「大学で学ぶことはあなたに何を託しているのか?」など、あなたにどんな意味があるのか?」を具体的に問う科目で、本学は32科目を指定、開講しています。

やまと共創郷育センターには、COC+事業の推進に関する事項を協議するため、「COC+推進機構」が設けられており、下部組織として編成されている「教育改革部、地域連携改革部、生涯学習・共同研究部、事業評価部」が運営しています。「地域志向科目」は、この中の教育改革部内(学内)による検討を経て、既存の教養教育科目・キャリア教育科目・各学部専攻科目の中から開講し、開講が行われています。今後は、これらの科目の履修者数が増えるための検討を進めていきます。

平成30年度開講の地域志向科目は以下のとおりです。

| 学部 | 履修科目名 | 担当教員 |
|------|-----------|-------|
| 文学部 | 「特色」文芸実習Ⅰ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅱ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅲ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅳ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅴ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅵ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅶ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |
| 教育学部 | 「特色」文芸実習Ⅰ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅱ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅲ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅳ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅴ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅵ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅶ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |
| | 「特色」文芸実習Ⅷ | 長友保大氏 |

～ならフィールドワーク実習～

この科目は、文学部専攻教育科目の必修科目で、学部の企業との協働によるフィールドワーク(実用知識)と、フィールドワークの経験の知識を学び修得する(専門的知識)の両方を学習・教育目標に掲げ、企業実用自ら(学生)が主体的に、希望する基内企業を複数訪問し、経営者・従業員の方へのインタビューや企業・自治体の現場を体験することで、学生自身で実内企業での就業・転職する実践的な経験を積み、就職・転職に必要とされるスキルを身に付けました。取組を通じて、企業研究(社員の方へのインタビュー)の重要性の理解、学生自身の職業力(社会人基礎力)の向上と、社会貢献の経験が、今後、(就職)活動の際、大きな力となり、奈良女子大学での就業・転職の機会を得て実践し、就業します。

～奈良女子大学入門～

この科目は、奈良女子大学で学ぶ、学生が実用したスキルを身につけるために必要不可欠な内閣委員会の形式で講義する授業で、キャリア・ライフの授業、奈良女子大学で学ぶ、奈良女子大学の学生が活躍しているフィールドワーク(実用知識)と、フィールドワークの経験の知識を学び修得する(専門的知識)の両方を学習・教育目標に掲げ、企業実用自ら(学生)が主体的に、希望する基内企業を複数訪問し、経営者・従業員の方へのインタビューや企業・自治体の現場を体験することで、学生自身で実内企業での就業・転職する実践的な経験を積み、就職・転職に必要とされるスキルを身に付けました。取組を通じて、企業研究(社員の方へのインタビュー)の重要性の理解、学生自身の職業力(社会人基礎力)の向上と、社会貢献の経験が、今後、(就職)活動の際、大きな力となり、奈良女子大学での就業・転職の機会を得て実践し、就業します。

～第6回 野道川村奈良女塾卒業式～

5月27日(月)から5月31日(金)までの5日間、奈良女子大学野道川村交流センターにて第6回野道川村奈良女塾が閉校されました。本年度は新体操、身体比べの機会を捉えて、日頃、高校や大学生に接する機会のない野道川村の小中学生に向けて学習サポートや大学生とのふれあいが通じて将来の進路を考慮できたりする。野道川村奈良女塾を開催しています。今回の参加対象者は小学生5名、中学生3名の他、午前中は国語、算数、英語、社会など身体比べの学習の補助を行い、午後、理科の実験、おやつ作り、ふるさと大会、英語による英会話などの活動を実施しました。



今後の取組予定

★から学+(プラス)の進捗

世界遺産、志願、名勝に囲まれた「奈良」というフィールドを通じて地域の社会の課題を見つけて、地方創生、地(知)の拠点作りについて考える授業科目です。進路選択の他、県内自治体・企業から多様な関係者がゲスト講師に選んで様々な観点から奈良の課題について考えます。

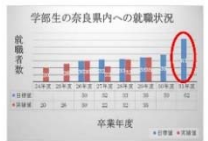
【予定ゲスト講師】

奈良県地域振興部、奈良県森林技術センター、奈良県果樹研究センター、奈良県森林部、奈良県女性活躍推進課、奈良県社会福祉協議会、下市町、奈良市観光協会、奈良観光協会、奈良県立研究所、日経産業工学部、TEACOM、DMC 高橋機械、藤キヤク、徳イデア、東イデア

★女子大学生ワーク&ライフEXPO

| | |
|----------------------------|-------------------|
| 11/29(土)会場:本学体育館 | |
| ★県内企業による業界研究会 | 11/14(水)会場:本学記念館 |
| ★県内就職希望者事務所による企業説明 | 11月～12月 県内716説明予定 |
| ★県内自治体の魅力を調べるセミナー | 12月 8～10日自治体参加予定 |
| ★本学・奈良県専・奈良県立大専同バパス利用企業研究会 | 3月 県内3～5日説明予定 |

県内就職事業目標値達成に向けて



COC+事業では、学生の雇われ経験を事業スクール種別から10%アップさせるという目標が定まっています。平成31年度からは従来の学生の奈良県内への就職が必要となります。平成29年度22名、平成30年度23名、平成31年度36名(県内就職者)という伸び率にありますが、県外出身者が約5割を占める本年度としては非常に高いレベルをクリアできたと見られています。

やまと共創創育センターでは、今後も引き続き学生に奈良県への興味関心を高めるため、様々な事業に取り組みますので、ご理解とご協力のごようしくお願い申し上げます。

奈良女子大学 やまと共創創育センター
〒630-8506 奈良市北島屋町1 奈良女子大学フロンティアセンター1階
TEL 0742-20-3669 FAX 0742-20-3663 Email coc-yamata@nara-wu.ac.jp

平成30年度前期のCOC+事業の取組状況

やまと共創創育センターでは、奈良県内の特色ある魅力的な企業を紹介する機会を増やすため、様々なイベントを開催し、学生の奈良県内での就職に対する意欲の増進の一助となるよう取り組んでいます。



～県内企業・業界研究会～

6月6日(木)、11日(木)及び19日(火)、奈良県内企業の魅力を紹介する業界研究会を開催しました。3日間の参加企業は30社、参加学生58名で、県内にそれぞれ特色のある魅力的な企業が多くあることを学生56名が知る良い機会となりました。

| 実施日 | 参加企業 | 参加者 |
|--------------|---|-----|
| 6月6日(木) 金沢社 | 西井上機設、岡村印刷(トク興)、河村機研所、国土工業部、スナップパナ、(社)日産油脂 | 13名 |
| 6月14日(水) 金沢社 | 上六印刷所、寺MST、サービスセンター、岡本、デンソーエレクト、アネイテック、奈良プレス印刷、名阪食品 | 23名 |
| 6月19日(火) 金沢社 | メーカー、県工電子工業部、南村機研所、西商研下流、中ノ村製菓、東工研山本、羽野新報 | 22名 |



～県内企業O&Gの交流会&セミナー～

7月4日(木)、11日(水)の2日間、県内の企業等に就職する先輩(O&G)と本学学生との交流会を開催しました。2日間の参加O&Gは14名、参加学生52名で、先輩からの仕事のことや学びの過程など、多方面に亘る情報について学生が知る良い機会となりました。

| 実施日 | 参加O&G数 | 参加者 |
|----------|---------------------------------------|-----|
| 7月4日(木) | 奈良県専、奈良県監督本部、奈良県印刷、日清製粉、パナソニック、奈良県工業部 | 18名 |
| 7月11日(水) | 奈良県専、奈良県警察本部、奈良県教育、日清製粉、上六印刷所、東工研山本印刷 | 7名 |



サテライト施設情報 > 下市町、野道川村、十津川村にサテライト施設を設けています。

～奈良県下市町にて学習支援事業を実施～

8月20日(月)から22日(水)までの3日間、奈良女子大学下市町アカデミアセンターにて本学学生による学習支援事業を開催しました。下市町の小学生(20名)6人、中学生(21人)、高校生(4人)と学習支援を通じて交流を深めることができました。夏休み期間を中心に学習のお手伝いなど、下市町市民との交流を図る機会となり、お互いに学び合う機会となりました。

参加学生からは、小学生と一緒に夏休み学習のお手伝いをして楽しかった、「参考になればよい高校・大学生を紹介したい」初めて下市町を訪れた。部会では得られない下市町の良さを知ることができた、といった感想がありました。



2019年春号

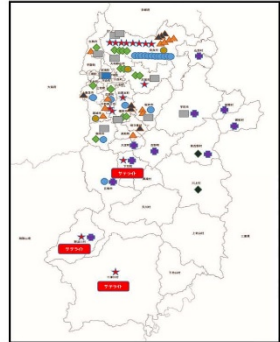
やまと共創創育センター NEWSLETTER

2019年春号

平成29年12月にスタートした本学におけるCOC+事業は、いよいよ今年度に属する期間が最終年度を迎えます。これまで、県内自治体・企業と連携する等を実施し、地域とのつながりを強くしたフィールドワーク型・FDL型を含む1地域志向型目的の冒険を通じた多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が県内就職することを目標にきました。本号では、平成30年度実施の取組を中心に紹介します。

様々な分野で県内各地域、自治体、企業と連携・協働

COC+事業では、企業が協働主体を担い始める様々な地域において、それぞれの地域が抱える課題の解決に貢献する取り組み型(FDL型)地域志向型や、県内自治体及び企業の専門家を実務家教員として派遣した実務経験科目並びに、これらの経験を活かした自治体に対する政策提案・実践を通じて、地域にどのような貢献が出来るかを生徒自らに問いかけを促しています。また、県内企業協力発見セミナーや県内企業等に就労するO&Gとの交流会、3校合同バスターによる企業見学会等、各種就職支援活動を積極的に実施し、これまで培った機会を活かして地域とのつながりを持つ企業との出会いの場を提供し、これらの活動を通じた学生の実業研究・企業理解に向けたサポートを行いました。



- 左記地図は、COC+事業による様々な取組を通じて奈良県全体に広がったネットワークを表現しています。
次年度もこれまで続いてきたネットワークを大切に、学生の地域定着を目指して取組を進めます。
- サテライト
 - 多様な関係性及び多様な企業
 - 新規実務経験型実務家教員
 - 企業実務経験型実務家教員
 - 県内企業協力発見セミナー
 - 地産地消型FDL型(FDL型)実務家教員
 - 女子大学生ワーク&ライフEXPO参加企業
 - 県内企業O&Gの取組
 - 県内企業協力発見セミナー参加企業
 - 県内企業O&Gの取組
 - 県内企業見学会参加企業
 - 県内企業見学会参加企業
 - 県内企業見学会参加企業

平成30年度後期のCOC+事業の取組み

●「女子大学生ワーク&ライフEXPO 2018」(10/27)

本学体育館にて「女子大学生ワーク&ライフEXPO 2018」(奈良県主催、本学・奈良県立大共同)を開催しました。このイベントは女子大学生が就職活動のスタートダッシュにのり前に、働く女性のリアルな話を聞くことで夢を叶えることへのモチベーションを高める機会とすべく、本学学生が奈良系に企画・運営・実行したもので2日間の開催です。県内企業25社、本学学生が積極的に参加し、多くの学生が就労先が決まりました。元サッカークラブ日本代表選手有馬氏による記念講演の他、ライフデザインセンター、奈良県女性部、奈良県労働部、多様なゲストが参加しました。



●「県内企業見学会」(11～12月 計2回実施)

3日連続で開催したもので計2回の実行企業見学会を実施しました。初回は、タリタリ印刷【装束】、DMG環境機械【工作機械】、三井製鋼【炭素素材】、徳島S rコーポレーション【工業用材料】、新島工機【工具】、毎分産業研究所【食器】、信越産業【工業用材料】の7社で、各説明員に事前申し込みのうえののりつけ体験を実施し、業界と企業への理解を深めました。



●「県内自治体の魅力を調べるセミナー」(11/29)

県内10自治体の魅力を得て県内自治体の魅力を調べるセミナーを開催しました。各自自治体の特色や魅力に関するプレゼンテーションの後、学生が個別の自治体ブースを訪問し、職員やO&Gは自治体のご紹介、採用情報のご紹介などを行いました。参加学生からは、「県内自治体の魅力について知りたかった」と、「就職先が選べるようになった」と、就職先を決めた学生は多いと聞かれました。



●「産とホムマルシェ」(12/1)

地域経済再生に向けた取り組みを推進する産とホムマルシェの開催を通して、奈良のホムマルシェを他者の人々も楽しめるように学生に伝えることを目標に開催しました。学生からは、産物づくりからイベントまでの企画、広報、運営が自分たちで行ったことで、商品の魅力を伝えることができた、販路を広げたいという声が多く聞かれました。また、地元産品の魅力を伝えることで、産とホムマルシェの魅力を伝えることができた、と、主体的に地域の振興活動に関わる力になれるようになったと聞かれました。



●「コミュニティ・アクション取組発表に関する公開講座」(12/2)

多様な関係性で下市町の地域振興を、地域づくりのコミュニティ・アクションの取組発表に関する公開講座を開催しました。この公開講座は、下市町で学生たちがフィールドワークを行い、地域コミュニティの課題解決に向けた活動実践の成果を発表する場として、本学社会連携センター、なら学院総合センター1階で開催されました。地域の課題を課題解決するための地域課題解決の具体的な取組を発表するとともに、専任に合わせたアクション・プラン作成や発表会、イベントなどの企画・実行の進め方について相談が行われました。



●「奈良県内大学生による学習支援事業成果報告会」(12/13)

奈良県工業高専ホールにて、奈良県内大学生による学習支援事業成果報告会を開催しました。これにより、本学生活協賛大学の学生グループがこれまで実施してきた「野道川村奈良女塾」の取組を振り返り、平成30年度の奈良県

県内大学生が創る奈良の未来事業「政策研究室」のメンバーにおいて、優秀賞を受賞した女子人達（女子人達による県高専学習支援）が受賞されたもので、今年度2年目の実施が決定。事業に携わる奈良県職員と本学の学生がチームを組んで活動を行い、今年度の活動事業計画と本学の指導を受け、本学学生による企画・準備作業の報告を行いました。

●13校合同 県内企業見学会～県内企業の魅力を体験しよう～(12/15)

奈良県工業、COC+協会の学生を対象とした奈良県内企業見学会を開催しました。見学会には2つの区分に分かれて、コース1)製品加工業(新工業所、上六町(動物)及びコース2)山田電子工業(山田電子工業、西原田印刷、カネミ)一行に各校の学生が参加し、県内企業への理解を深めました。

地域志向科目「なら学+(プラス)」を開講

地域志向科目の一つである「なら学+(プラス)」(統括教育科目)を開講しました。今年度は本学部から学生20名が受講しました。この授業では、COC+参加企業、県内自治体・企業で実務に携わる専門家・実務家として活躍し、様々な視点から奈良の課題や取り組みについて解説しながら、問題解決力・発信力・発信力を養い、奈良に必要の知識を身につけて活躍できる卒業生を育てることを目指して展開して参りました。本講義は、学生が授業中に感想や質問等について積極的に発言し、その場限りの授業で学んだ知識を授業後に活用し、奈良の課題を様々な視点から解決策を模索し、最終的に、本学ナレッジ・センターの教育推進課のある13校合同で行った地域志向科目で活動している学生の取組実績を発表するに際して関係機関職員によるデータ創出に関する実践的授業を行いました。また、受講生に対して授業を通じて得た知識や自身の関心に基づいたデータ創出に関する実践的授業を行いました。また、受講生に対して最終課題の提出を求めました。これらでの受講内容や自身の経験を踏まえて多彩な取組があり、奈良県ならびに一時的な課題解決の取組に必要の知識やスキルを身に付け、奈良の歴史伝統産業といった課題を解決策とする「なら学+(プラス)」上、新たな奈良の未来を創出する「なら学+(プラス)」として貢献する予定です。



平成30年度 なら学+(プラス)授業スケジュール

| 授業日 | 授業内容 | 担当教員(アソシエイト) |
|-----|---------------------|--------------------|
| 1期 | オリガシ | やまと共創教育センター(池田 節子) |
| 2期 | 県庁でのボランティア活動の振り返り | 奈良県庁(高橋 隆夫) |
| 3期 | 観光客のニーズ調査の振り返り | 奈良県観光局(高橋 隆夫) |
| 4期 | 奈良県庁でのボランティア活動の振り返り | 奈良県庁(高橋 隆夫) |
| 5期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 6期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 7期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 8期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 9期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 10期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 11期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 12期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 13期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 14期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |
| 15期 | 山田電子工業での振り返り | 山田電子工業(山田 隆夫) |

COC+フォローアップに係る現地視察を受けました

2月28日、日本学術振興会COC+委員会事務局の視察委員による現地視察が行われました。当日は、本学及び参加企業による取組みと事業推進状況報告に基づく視察委員との意見交換の他、スクリーンを使って下市アライアンスセンターの様子を紹介しました。また、市道川村奈良女子大学下市アライアンスセンターに参じた学生、十津川町でのPBL型地域若者科目の実践活動に参加した学生への聞き取りも行われました。

地域志向科目の必修化を進めています

COC+事業の柱の一つである地域志向科目の必修化に向けた準備を進めています。やまと共創教育センターCOC+推進課に設置された「教育改善部」において作成された案について、教育計画課及び各学部の検討を経て、教育科目目上95科目、文学部専科科目39科目、理学部専科科目4科目、生活環境学部専科科目22科目を指定し、これらの中から卒業するために3科目以上の修得を要するとの手続きを進めています。

平成31年度にアントレプレナー科目を新規開講

今年度、キャリア教育科目「キャリアデザイン(ゼミナール)」のDとして「ビジネスプラン」の作り方を「アイデア」だけでおこなう「アイデア」(授業)を開講します。この授業では、事業を運営する際の設計であり、本学関係者の方の協力と、共有のみならず、企業関係や投資家等の外部関係者に意見を伺って、協力・実行を促すための必要不可欠なものである「ビジネスプラン」の作成実践を通してアントレプレナー意識の醸成を図ることを目的としています。

県内就職事業目標達成に向けてご協力をお願いします



COC+事業には、学生の地元就職率を事業スタート時点から10%アップさせるという目標があり、平成31年度には62名の学生の奈良県内への就職が必要となります。平成27年度22名、同28年度32名、同29年度36名、同30年度現職生時点で24名と過去就職者は増加傾向にありますが、県外出身者が9割を占める本学にとって、昨年度にたいはるハードルを乗り越えなければなりません。

やまと共創教育センターでは、今後も引き続き学生に奈良県への興味関心を高め、様々な事業に取り組みますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

奈良女子大学 やまと共創教育センター
〒670-8506 奈良市北池原町 奈良女子大学ナレッジセンター1階
TEL 0742-25-7555 FAX 0742-25-3993 Email coc+@nara-wu.ac.jp

(2) 株南都銀行の寄附目録贈呈式 平成30年7月24日(火)

奈良女子大学にて株南都銀行からの寄附にかかる目録贈呈式が開催された。COC+参加企業でもある株南都銀行は、平成27年7月から「ナントCSR私募債」の取扱いを開始しており、東洋スクリーン工業(株) (本社：奈良県斑鳩町)の「私募債」起債を記念するとともに、起債額の一部が奈良女子大学に寄附された。

東洋スクリーン工業(株)は1954年創業の「ウェッジワイヤースクリーン」のろ過装置製造メーカーで、2017年度に本学学生が初めて入社し、現在も活躍している。COC+事業に賛同いただいている同社の廣濱毅憲社長は、COC+シンポジウムに出席された際、「学生様方の発表内容、姿勢のレベルの高さにも驚かされました。学生様方がこれだけ奈良の事を思い、動いてくれているのだから我々受け入れ側の企業はもっともっと努力を重ねなければいけないと認識させられた。まずは当社自身が出来る事をしっかりと行い、色々な場で発信し、より多くの方に魅力ある企業と認知頂けるよう、そして、その活動が微力ながらCOC+事業の方にも少しでもお役に立てるよう尽力して参りたい」とのコメントがあった。

さらに、同社は、経済産業省の「地域未来牽引企業」にも選定されており、2018年度においても本学から新たに1名が採用され、地域と一体となって地元就職率の向上に取り組む本学のCOC+事業への取り組みに対するよき理解者となっている。



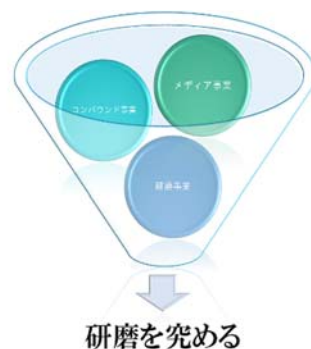
(3) 国広産業(株)との共同研究の取り組み

国広産業(株) (本社：奈良県葛城市) は約 50 年間バレル研磨用プラスチックメディア (研磨石) の製造を行っており、COC+事業に対するよき理解者でもあり本学学生の新卒採用ならびに共同研究を現在実施中である。

バレル研磨には、メディア (研磨石) の他にコンパウンド (界面活性剤) も必要で、研磨性能を引き出すにはメディア (研磨石) の性能アップだけでなく、コンパウンド (界面活性剤) のアップデートも不可欠と考えている中、本学との共同研究をスタートした。2018 年 1 月～12 月の 1 年契約で共同研究「界面活性剤の開発」を推し進め、手探りの状態であったものの 1 年間の成果として仕上げ研磨に効果のある界面活性剤を試作開発することができた。

(影石社長からのメッセージ)

プラスチックメディアの用途は多岐に渡っており、今後も用途が広がる可能性を秘めています。現在主流の自動車・電子部品向けメディア (研磨石) から航空宇宙、医療分野、更にはその先のバイオ、アート分野へと従来の研磨の枠を超えた取組みも積極的に行っており、研磨を追及していきたい。奈良女子大学との共同研究契約を継続し、界面活性剤の可能性とプラスチックメディアの可能性を更に広げ、魅力ある国広産業としていきたい。



(4) 賃貸のマサキ (正木商事株) との共同プロジェクト

昨年度に引き続き、本学のならまちセミナーハウスのオーナーでもある正木商事株と生活環境学部住環境学科の学生が、地元企業と大学の協働による地域活性化を目指して新築賃貸マンション(1DK)の内装に取り組んだ。「元気になる部屋に住みたいが、落ち着く部屋でもあって欲しい」、「大学生だけでなく、社会人の女性にも上品なかわいらしきを持つテイスト」、「便利な収納家具とその日らしい生活スタイルを楽しんでもらいたい」という3つのコンセプトで3部屋の内装に取り組んだ。

住環境学科の学生は、設計演習という授業で建築図面と模型を製作しているが、自分たちの提案が実現する機会は滅多にない中、今回のプロジェクトで、自身の生活体験を活かして提案ができたこと、クロスを選定、壁面収納、木の温かみを感じるデスクなど自分たちの提案が完成した空間を体験できたことは、学生にとって得難い貴重な学びの機会となった。当事者だからこそその細やかな提案には正木商事さんにも喜んでいただき、地元企業にも学生にも嬉しい協働ができた。

* Concept

便利な収納家具と
「その人らしい生活スタイル」
を楽しんでもらいたい。



①アクセントクロス: RE-7513

* 前回の振り返り

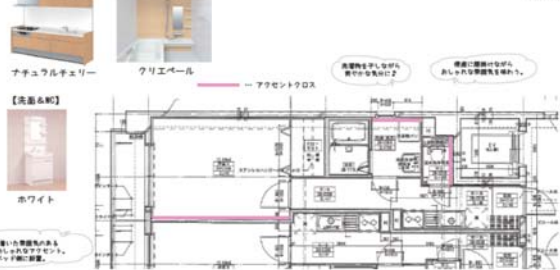
- ・洗面所、トイレのクロスは黄色っぽいのはもう少しスッキリした黄や白色を。
- ・卓上の水で、壁に奥行きのある収納棚は*
- ・玄関ドアの内側の傘立てを全部屋に設置決定。
- ◎使い勝手も維持のしやすさ◎ おしゃれ度

your's One

人によって好きなテイストは様々。家具などで個性が出てその部屋の雰囲気が変わるはず。女性をターゲットにしたこの部屋は家具の個性を邪魔せず、柔らかな可愛さをもつ木と白の組み合わせで提案。

ナチュラルなテイストが好まれる女性が多い。テイストを統一せず、ナチュラルなテイストをベースに、お洒落なテイストを取り入れる提案も行う。

【キッチン】 【浴室】 マサキPJ プランA (多々良・大谷・森口) 9/27 No.1



* Color image

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>【居室】</p> <p>クロス</p> <p>①アクセント ②壁 ③中木 ④床 ⑤天井</p> <p>①アクセントクロス: RE-7513 ②壁: RE-7648 ③床: HW-1825 ④中木: #-31 ⑤天井: RE-7518</p> | <p>クローゼット扉: チェリー</p> <p>①アクセントクロス: RE-7513 ②壁: RE-7648 ③床: HW-1825 ④中木: #-31 ⑤天井: RE-7518</p> | <p>【洗面&廊】</p> <p>洗面</p> <p>①アクセント ②壁 ③中木 ④床 ⑤天井</p> <p>①アクセントクロス: RE-8143 (洗) ②アクセントクロス: RE-7874 (廊) ③壁: RE-7856 ④床: HW-1825 ⑤中木: #-31 ⑥天井: RE-7518</p> | <p>居室 (ベランダ側から、16時頃)</p> <p>①アクセントクロス: RE-7664 (洗) ②アクセントクロス: RE-8807 (廊) ③床: HW-1825</p> |
| <p>居室 その1</p> <p>洗面</p> <p>①アクセント ②壁 ③中木 ④床 ⑤天井</p> <p>①アクセントクロス: RE-7664 (洗) ②アクセントクロス: RE-8807 (廊) ③壁: RE-7856 ④床: HW-1825 ⑤中木: #-31 ⑥天井: RE-7518</p> | <p>居室 (玄関側から)</p> <p>①アクセントクロス: RE-7756 (洗) ②アクセントクロス: RE-7318 (廊) ③床: HW-1825</p> | <p>居室 その2</p> <p>洗面</p> <p>①アクセント ②壁 ③中木 ④床 ⑤天井</p> <p>①アクセントクロス: RE-7756 (洗) ②アクセントクロス: RE-7318 (廊) ③壁: RE-7856 ④床: HW-1825 ⑤中木: #-31 ⑥天井: RE-7518</p> | <p>【ドーム玄関収納】</p> <p>①壁: RE-7856 ②中木: #-31 ③床: HW-1154 ④天井: RE-7518</p> <p>【壁面・棚】 --- チェリー系の色</p> |

テイスト：シャビーシック

【コンセプト】
上品可愛らしさでもフットレスト。
大学生だけでなく、社会人の女性にも。
おしゃれで涼やかな雰囲気の提案。
アクセントには落ち着いた花柄を使用。

【カラー】
洋室 B & K-B & ホール

床 [F1]：ネトーン (HM1079) → トラバーチン (HM1005)
壁 [W1] (洗面・WC 以外)：パターン (RM959)
アクセントクロス [AC1]：花柄 (FE1397)
天井 [C]：白 (FE1275)



洗面・納衣 & WC

床 [F2]：タリス (HM1092)
壁 [W2]：白 (RM910) → 白 (RM937)
アクセントクロス [AC2]：花柄 (FE1691)
天井 [C]：白 (FE1275)



玄関

床 [F3]：ネイトーン (HM1044) → ビアンコ (HM1093)
壁 [W1] (洗面・WC 以外)：パターン (RM959)
天井 [C]：白 (FE1275)

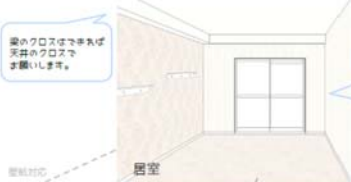


SCL

床 [F1]：ネトーン (HM1079) → トラバーチン (HM1005)
壁 [W1] (洗面・WC 以外)：パターン (RM959)
アクセントクロス [AC3]：ピンク (FE1598)
天井 [C]：白 (FE1275)



窓のクロスはできれば
天井のクロスと
お揃いします。



窓のサッシや
シューズクロークの扉、
トイレの扉は、可能な限り
白 (ホワイトアッシュ) で
お揃いします。



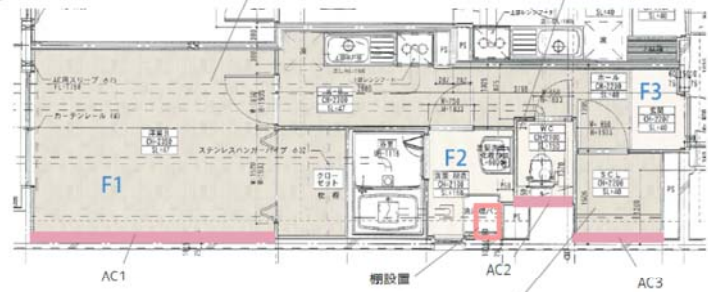
床全面に貼ったことで、
手摺以上に固かったため変更。



洗面・WC は清潔感が
いいと思い、真っ白に変更。



F1 どの壁もつけかかったため変更。



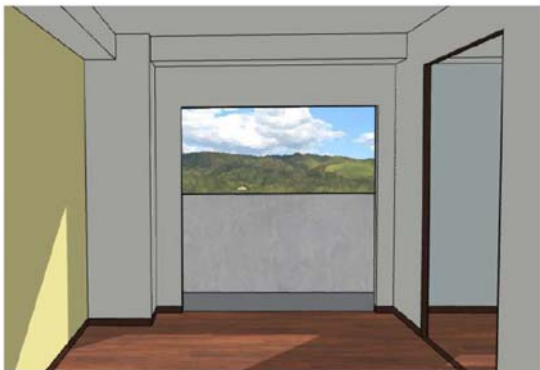
その他
巾木(全室共通)：木目調(W31)
鏡筒・枠：ホワイトアッシュ調 (GY)
キッチン：スムースホワイト W735
風呂：壁/タイル (ホワイトストーン HN751)
床 (FRP 西約調機種 ホワイト NS6)
天井 (ホワイト 4585)
洗面化粧台：白(VP1W)
トイレ：白



棚設置
切手箱の上には
コートや傘をかける
フックやフック。

一人暮らしの部屋なので
靴を収納できる
シューズクロークは
半分くらいの高さまで。

C 室 コンセプト & 色彩案



02. アクセントクロス 配置図

2018/08/23 (木)
香島女子大学 建築設計室
中島久美子・宮本雅也・西みずか

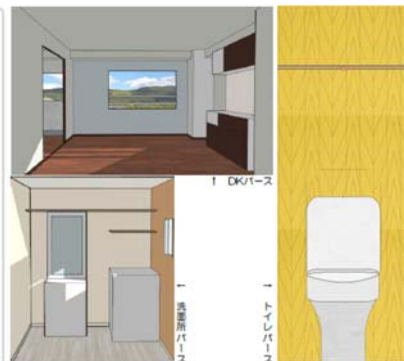


01. コンセプト：androgynous (中性的)

「元気が出る部屋に住みたいが、落ち着く部屋でもあってほしい。」
就職、学生等の新生活を明るく爽やかに過ごせるカラーデザインを提案。寝室の奥に見えるアクセントカラーはビタミカラーを選択。
中でも落ち着きを感じられる緑系、水色を選択することで「明るく爽やか、元気な部屋」と「落ち着きを感じる部屋」の両方を実現。

03. カラーデザイン

| | |
|--|---|
| <p>◆ 玄関</p> <p>床 (基本) 天井 巾木 鏡筒</p> <p>HM-1091 HM-926 FE-1279 W-41 W-41</p> | <p>◆ ダイニングキッチン</p> <p>床 (基本) アクセント 天井 巾木 鏡筒 キッチン</p> <p>HM-1068 HM-926 FE-1193 FE-1279 W-42 TY TY</p> |
| <p>◆ 廊下</p> <p>床 (基本) 天井 巾木 鏡筒</p> <p>HM-1023 HM-926 FE-1279 W-41 TY</p> | <p>◆ 寝室</p> <p>床 (基本) アクセント 天井 巾木 鏡筒</p> <p>HM-1068 HM-926 FE-1716 FE-1279 W-42 TY</p> |
| <p>◆ トイレ</p> <p>床 (基本) アクセント 天井 巾木 鏡筒</p> <p>HM-1019 FE-1681 FE-1026 FE-1274 W-41 TY</p> | <p>◆ 洗面所</p> <p>床 (基本) アクセント 天井 巾木 鏡筒 洗面台 洗面鏡</p> <p>HM-1019 FE-1681 FE-1205 FE-1275 W-31 TY VP1W HM642</p> |



賃貸のマサキとの共同プロジェクト

[A班]

・M1 多々良里奈

私にとって今回のプロジェクトは、昨年引き続き2回目となりましたが、真っさらな空間に天井、床、壁と色をのせていきながら、自分たちがイメージした空間に近づくように、それぞれを組み合わせていくのが難しかったです。チーム内で話し合う際も、好みや提案が1人ずつ異なり、たくさんあるアイデアの中から、最終的に納得のいくものに仕上げる上で、何度も試行錯誤しました。これから入居される方の毎日が、少しでも明るく色づいてくれたらと思います。



・B4 大谷咲月

新築ということで、モノがない状態で壁紙などを決めていくのは難しかったです。内装を一から決めていくめったにない貴重な経験が出来ました。今までは、自分の部屋などで「この壁はこの色にしたらオシャレかな」など頭の中で想像することはありましたが、それをチームで話し合っただけで現実のものにしていくのはとても楽しかったです。3つ異なるタイプの部屋ができたので、それぞれどんな人が入ってくれるか楽しみです。

・B4 森口和紗

今回は部屋に住んで欲しいターゲット層をイメージしながら内装の色を決めさせていただきました。このことは自分の好みだけで選ぶこととは異なるため、普段は選ばない色との組み合わせを考える必要もあり難しさがありました。しかし同時に、縛られずに多くの色に目を向けて暮らしを想像し選ぶことはやりがいと楽しさがありました。学生の中に実際に作られる建物でこのような機会をいただけたことはとても貴重な経験となりました。

[B班]

・M1 川嶋汐里

今回のプロジェクトで最も難しかったのはクロス選びでした。壁や天井、床の組み合わせはもちろん、サンプルで見るクロスの色と実際の色はかなり違うため、パースを描いて部屋全体のイメージを深め、何度も打ち合わせを重ねて慎重に選びました。最終的に提案した女子大生や社会人女性向けの「上品でかわいいシャビーシックなお部屋」がオーナー様に気に入っていただけたと聞いて非常に嬉しく、自分で考えたアイデアを人に提案することの楽しさを感じました。

・B4 廣川陽奈

私は下宿しているので、その生活の中で感じる要望や不便さを自分の意見として発信できたことが良かったなと思います。誰もが使いやすいものにしたい、でも可愛さも取り入れたいという2つの気持ちがあったので、そのバランスが難しかったです。このアパートがたくさんの人に愛され、楽しく快適に過ごせる場所になってくれたらな、と思います。

[C班]

・M2 中飯久美子

今回の新築内装プロジェクトでは、これからできる部屋の内装を自由にデザインさせていただきました。まだ実際にできていない部屋を想像しながらコンセプトや色調を決めていく作業は、色合いの検討や日光の入り方、部屋の広さの確認など、画面上でしか行えなかったため苦戦しました。内装という、建物を建てる過程の一部分でも、決めていかなければならないことが非常にたくさんあるということを実感し、1つの建物をつくる大変さを改めて学ぶことができたと思います。また、経験不足な大学生という立場でありながら、実際に 建つマンションの内装をデザインさせていただけるという普通なら得られない機会を与えてもらい、責任ある仕事を請け負う経験を得ることができました。

・M1 宮本順加

今回は大変貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。学年が異なったことと違った考え方を持つ3人が1つのチームになったために意見を合わせるのが難しかったが、1つの案をいろいろな視点から見る事が出来たことが良かったなと思います。今後、マンションが完成し、私たちが考えた住戸にどんな住民の方が入り、どう感じられるかが大変ワクワクします。



・B4 西あすか

今回担当したのが男性女性、学生社会人と様々な入居者を対象としたお部屋だったのでどんな人も喜ぶ工夫を考えるのが楽しくもあり難しかったです。こんなものあったらいいなと考え、良かれと思って付けたものが使わない人にとっては邪魔になってしまうということにはじめは気付かず、みんなが使えるもしくは使わなくても邪魔にならない工夫を考えるのが難しかったです。完成がとても楽しみです。

(5) 野迫川村奈良女塾 平成30年8月27日(月)～8月31日(金)

奈良女子大学野迫川村交流センターにて第6回野迫川村奈良女塾を開催した。奈良女子大学では春休み、夏休みの機会を捉えて、日頃、高校生や大学生に接する機会のない野迫川村の小中学生に向けて学習サポートや大学生とのふれあいを通じて将来の進路を考えるきっかけとなるよう野迫川村奈良女塾を開講している。今回の参加対象者は小学生5名、中学生3名の8名。午前中は国語、算数、英語、社会など夏休みの課題学習の補助、午後は、理科の実験、おやつづくり、かるた大会、英語による映画鑑賞などの活動を実施した。また、授業の合間には、大学生が子供たちに自らの経験を語ることにより、将来の高校生活・大学生活、自分の未来を考えるきっかけづくりも行った。



(6) 下市町での学習支援 平成30年8月20日(月)～22日(水)

奈良女子大学下市アクティビティセンターにて本学学生による学習支援事業が開催された。本学学生が参加して下市町の小中学生(20日6人、21日7人、22日4人)への学習支援を通じた交流を深めることができた。

昨年9月は下市小学校ならびに下市中学校に出向き、授業補助という形での実施だったが、今回は夏休み期間中の実施となったことから、下市アクティビティセンターにて夏季ワーク等の宿題を中心とした学習のお手伝いの他、「下市町手作り地図」の作成や「奈良“まほろば”かるた」大会の実施など地域・地元に着目した社会学習の実施となった。

参加学生からは、「小学生と一緒に夏季学習のお手伝いできて楽しかった」、「参考になればと自身の高校・大学生活を紹介した」、「初めて下市町を訪問した。都会では得られない下市町の良さを知ることができた」といった感想があった。



今後の展開と奈良県教育委員会からの評価

◇本学習支援は、野迫川村奈良女塾をベースとして始まった奈良県が主催する奈良県南部東部学習支援活動の一つで、平成30年度は8団体（吉野町、大淀町、下市町、山添村、宇陀市、曾爾村、御杖村、五條市）に拡大して、参加大学も奈良女子大学の他、畿央大学、奈良教育大学、天理大学、奈良学園大学、帝塚山大学の6校の学生が参加する事業に発展した。

◇奈良県教育委員会事務局 大学生塾コーディネーター松岡指導主事からは、

日頃、大学生に触れる機会がなく過疎地の小中学生の満足度は非常に高く、参加大学生においても、「奈良県の南部東部で学習支援をするのが初めてである」「大学で学習していることや部活動、専門的なスキルを生かすことができる」「子どもたちや地域から学べたことがある」「機会があればまた参加しようと思う」といった意見の他、

- ・県南部東部（過疎地）へ初めて足を運んだ学生も多い、
- ・この学習支援事業に参加し背中を押され地域に入り、地域を知る機会提供となっている、
- ・夏休みの学習支援終了後も定期的に山添中学に教員補助のボランティア活動をしている学生がいる、
- ・地域おこし協力隊に関心を持つ学生がいる、

との意見や感想が述べられ、その活動においては高い評価を受けている。

(7) 奈良経済同友会との交流・懇談会 平成31年1月21日(月)

奈良女子大学では、地元企業との連携をさらに強化するため、平成18年度から奈良経済同友会との交流・懇親会を開催しており、平成30年度については、以下のとおり実施した。

日 時：平成31年1月21日(月) 15:00～18:50

場 所：奈良女子大学理学部 G棟2階 G201教室

参加者数：85名(同友会 57名、本学 28名)

<日 程>

15:00 開会 開会挨拶 奈良経済同友会 代表幹事 北 義彦 氏
奈良女子大学長 今岡 春樹

15:10 奈良女子大学 講演 国際交流を通じた社会連携の試み

(1) 「インドネシア研修報告」

- ・インドネシアにおける森林保護の取り組み 文学部4回生 久保田 奈津
- ・インドネシアの環境汚染 博士前期課程1回生 白井 玖美
- ・ガジヤマダ大学との学生交流の一コマ 博士前期課程1回生 前川 ほのか
- ・インドネシアを訪問して気づいたこと 博士前期課程1回生 リュウ カセイ

(2) 「奈良女子大学とバンングラデシュ・ダッカ大学との学術交流活動について

－ これまでの活動とこれから －

奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 高須 夫悟

(3) 「理系女性教育開発共同機構の『グローバル化推進プロジェクト』について」

奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 山下 靖

(4) 奈良経済同友会 講演

「新興国の農業インフラの現状と取り組み紹介(ミャンマー、ベナン共和国の場合)」

株式会社大和農園ホールディングス 代表取締役社長 吉田 裕 氏

17:30 閉会

